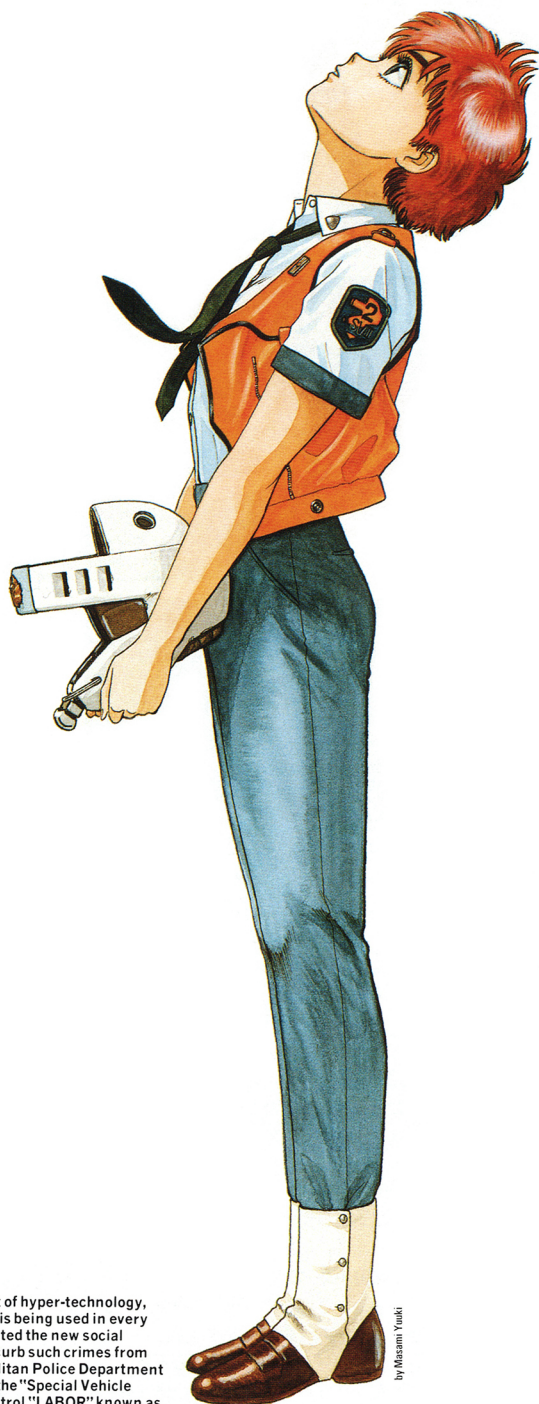




アルフォンスは……いつだって最高だよ。

With the rapidly accelerating development of hyper-technology, a humanoid-type machine called "LABOR" is being used in every field of industry. However, it has created the new social menace of "LABOR" crime. In order to curb such crimes from happening one after another, the Metropolitan Police Department has established a special department, the "Special Vehicle Section No. 2". It consists of a company of patrol "LABOR" known as

企画・原作:ヘッドギア

原案:ゆうきまさみ

脚本:伊藤和典

メカニック・デザイン:出淵 裕

キャラクター・デザイン:高田明美

監督:押井 守

制作:スタジオ・ディーン

製作:株式会社バンダイ/株式会社東北新社

配給:松竹株式会社

# PATLABOR

機動警察パトレイバー

劇場版

Original Story And Original Character Design by MASAMI YUKI  
Story And Screenplay by KAZUNORI ITOH  
Mechanic Design: YOSHIAKI TOSHIUCHI Character Design: AKEMI TAKADA  
Directed by KADUJI SAWAI Animationwork Director: KAZUYA KISE  
Director of Sound Design: SHIGEHARU UOZUMI Music by KENJI KAWAI  
Music Production: WARNER PIONEER CORPORATION Produced by STUDIO DEEN  
Produced by BANDAI CO. LTD And TOSHOKU SHINSHA FILM CO. LTD

(Directed by MAMORU OSHII)

HEADGEAR PRESENTS

「少年サンデー」絶賛連載中(ゆうきまさみ)

同時上映:「機動戦士SDガンダムの逆襲 武者ガンダム参上」



# PATLABOR

THE MOVIE

「少年サンデー」に連載され単行本を200万部売りつくし、イメージレコードも10万部以上売った「究極超人あ〜る」。このコミックの作者ゆうきまさみが何年間もあたためてきた作品があった。

それは、近未来のTokyoでパトカーの代わりにロボットに乗るおまわりさんを描いた、生活感溢れる異色ロボットアニメだ。いってみれば「焼魚定食」感覚の近未来アニメ。

その後この企画は多数のクリエイターを交えて検討が重ねられ、アイデアが蓄えられていった。そしてついに、88年春、6話連続のビデオシリーズと「少年サンデー」連載というプロジェクトに結実した。

「機動警察パトレイバー」の誕生だ。

ビデオは88年のオリジナル・ビデオ・アニメの分野で人気・売上共にNo.1を記録。ロボット物＝アクションの単純な図式を覆し、様々な要素・方向性を持った画期的な作品として評価されたのだ。

そして89年夏、今度はオリジナル・ストーリーをひきさげて劇場に進出する。アクションとサスペンスと笑いを見事に合体させた一大エンターテインメント。実写では描けない世界を迫力満点でお届けする。

舞台は1999年、東京。東京湾岸がマンハッタンのようになっている。人々の生活は今とそれほど変わっていない近未来。ただ、人間の形をした「レイバー」と呼ばれるロボットが作業現場を始め、生活の至るところで活躍している。監視庁でもあらゆる犯罪に対抗するため、パトロール・レイバー＝パトレイバーが導入されている。

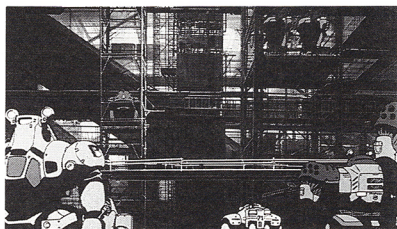
ちょうどその頃、レイバーは更新時期に入っていた。



## HEADGEAR

Original Characters by MASAMI YUUKI  
Scenario Written by KAZUNORI ITO  
Mechanical Designed by YUTAKA IZUBUCHI  
Character Designed by AKEMI TAKADA  
Director: MAMORU OSHII

ヘッドギアの5人(手前左:高田、同右:伊藤、後ろ左:ゆうき、中央:押井、同右:出淵)



レイバーの頭脳であるコンピュータのOSが、HOS(ハイパー・オペレーティング・システム)と呼ばれる新型のOSに書き換えられ、ほとんどのレイバーは新型レイバーへと転換が進んでいた。

しかし、自衛隊レイバーをはじめとして、謎のレイバー暴走事故が次々と発生する。捜査に乗り出した監視庁パトレイバー隊は、HOSが一連の事故と深い関連があることにたどり着く。しかも単純なOSのバグではなく、東京を壊滅できるだけのコンピュータ・ウイルスが仕掛けられた計画的な犯罪だと確信する。だが、HOSの開発者は自分のすべてのデータを消し、姿をくらましていた。

東京湾岸では、東京の土地問題を一挙に解決し、コスモポリス東京を目指す、今世紀最大の洋上工事計画＝バビロン・プロジェクトが推進されている。ここには、全国で稼働中の45%にあたる大量のレイバーが集中している。このレイバーの整備をまかなうのが洋上プラットホーム(通称「方舟」)だ。

やがてパトレイバー隊は、HOSがある条件下で大暴走することをつきとめる。その条件が揃う場所は方舟で、しかもその日は刻々と迫っていたのだ……。

まさに「いま」の空気を敏感に取り込み、コンピュータ犯罪、東京湾岸開発計画など現在性のあるテーマを真正面から扱っているのが特徴だ。

それを可能にしたヘッドギアの5人。人気マンガ家ゆうきまさみ、それぞれの分野でいまや第一人者の伊藤和典、高田明美、出淵 裕、「うる星やつら2」で知られる監督・押井 守が「パトレイバー」を作るために設立したプロジェクト・チームだ。アニメでは異例の周到なロケハンを何度もした成果が、いま花開こうとしている。

★当日、チラシ持参の方、当日料金100円割引★

(短編作品)  
機動戦士SDガンダムの逆襲  
武者ガンダム参上

### スタッフ

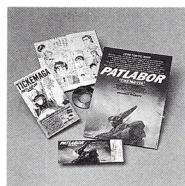
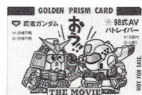
企画・原作:ヘッドギア  
原案:ゆうきまさみ  
脚本:伊藤和典  
メカニック・デザイン:出淵 裕  
キャラクター・デザイン:高田明美  
監督:押井 守  
演出:澤井幸次  
作画監督:黄瀬和哉  
美術監督:小倉宏昌  
メカデザイン協力:河森正治、佐山善則  
レイアウト:渡部 隆、田中精美、小倉宏昌  
カラー・デザイン:池さゆり  
原画:後藤隆幸、井口忠一、岸田隆宏  
音響監督:斯波重治  
音楽:川井憲次  
コンセプト・フォト:樋上晴彦  
音楽制作:ワーナー・パイオニア(株)  
制作:スタジオ・デーン  
製作:(株)バンダイ/(株)東北新社  
配給:松竹株式会社

### キャスト

泉 野明:富永みーな  
篠原遊馬:古川登志夫  
太田 功:池水通洋  
進士幹泰:二又一成  
山崎ひろみ:郷里大輔  
南雲しのぶ:榊原良子  
後藤喜一:大林隆介  
シバシバオ:千葉 繁  
神 清太郎:阪 脩  
香貫花クランシー:井上 瑤

- パトレイバー・テレフォン・サービス ☎03-505-9999
- 総合問い合わせ先:パトレイバー事務局 ☎03-485-5361
- パソコン通信:アスキーネット/salon.patlabor
- 「少年サンデー」にて毎週パトレイバー情報を告知

ゴールドプリズムカード付特別鑑賞券発売中  
(大人¥1,300/学生¥1,100/小人¥900)  
チケマガ大好評発売中 ¥1,500  
(大人・学生・小人共通特別鑑賞券¥1,100付)



©HEADGEAR/EMOTION/TFC

7月22日 土曜日 夏休みロードショー

●劇場窓口・市内プレイガイドにて各種前売券発売中! ●当日料金(税込)一般¥1,600 大学¥1,400 高・中¥1,200 小学¥1,000

シネマ ロキジ

中央区南3西1・須貝ビル5F ☎221-2235